

マイ・タイムラインを作ってみよう!

P4の作成例を参考に見よう!

作成年月日

年 月 日



台風が発生してから河川が氾濫するまでの、自分がとるべき行動を書き出してみよう。

※情報が発信されるタイミングは例であり、必ずしも下記のとおりには限りません。

※河川の写真はイメージです。

※緊急安全確保は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。

氾濫までの時間	行政からの情報 ・ 行政の動き	想定される気象 ・ 河川の状況	マイ・タイムライン	ポイント
3日前	警戒レベル 1 早期注意情報 台風予報	台風が発生 台風が近づくにつれ、 雨が降り始める。	<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 非常用持出品の例 <input type="checkbox"/>食料・飲料水 <input type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>充電器 <input type="checkbox"/>薬、お薬手帳 <input type="checkbox"/>携帯ラジオ <input type="checkbox"/>タオル <input type="checkbox"/>ヘッドライト <input type="checkbox"/>雨具 <input type="checkbox"/>防寒具 <input type="checkbox"/>身分証明書 <input type="checkbox"/>現金、通帳、印鑑 <input type="checkbox"/>ビニール袋 <input type="checkbox"/>その他、自分に必要なもの </div>
2日前	警戒レベル 2 レベル2大雨注意報 レベル2氾濫注意報	だんだん雨が強くなる。 雨がさらに強くなり、 河川の水位も上昇し始める。		
1日前				
半日前	水防団が待機 水防団が出動	河川の水位が 水防団待機水位 に到達 河川の水位が 氾濫注意水位 に到達 		
4時間前	警戒レベル 3 高齢者等避難 発令 レベル3大雨警報 レベル3氾濫警報 ・緊急速報メール (エリアメール) ・避難対象地区に防災行政 無線によるモーターサイ レン吹鳴	河川の水位が 避難判断水位 に到達 		
2時間前	警戒レベル 4 避難指示 発令 レベル4大雨危険警報 レベル4氾濫危険警報 ・緊急速報メール (エリアメール) ・避難対象地区に防災行政 無線によるモーターサイ レン吹鳴	河川の水位が 氾濫危険水位 に到達 		
0時間前	警戒レベル 5 緊急安全確保 発令 レベル5大雨特別警報 レベル5氾濫特別警報 ・緊急速報メール (エリアメール) ・避難対象地区に防災行政 無線によるモーターサイ レン吹鳴	氾濫が発生 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【逃げ遅れた場合】 命を守る最善の行動 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 命の危険 直ちに安全確保! </div>
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 逃げ遅れないこと! 過去の水害において、避難情報が発令されているにもかかわらず、自宅に留まり、避難できなくなった方がいました。命を守るために重要なことは、逃げ遅れないことです。今までの台風で避難の必要がなかったから、今回も大丈夫とは限りません。避難できない状況になる前に避難しましょう。 </div>
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 情報の入手先 気象情報 避難情報 河川の状況 避難について 避難の方法 避難する場所 避難先までの所要時間 </div>

※早期注意情報以外の防災気象情報は、情報名称の前に警戒レベルが付いた形で発表されます。